

4 教科等の指導における ICT の活用

新学習指導要領においては、情報活用能力を言語活動と同様に学習の基盤となる資質・能力と位置付け、学校の ICT 環境整備と ICT を活用した学習活動の充実を図るとともに、身に付けた情報活用能力を発揮することにより、各教科等における主体的・対話的で深い学びへとつなげていくことが求められています。

GIGA スクール構想による新しい学びの姿

Society5.0 時代を生きる子どもたちにとって、教育における ICT を基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められています。

このため、**児童生徒 1 人 1 台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、クラウド活用促進、ICT 機器の整備調達体制の構築、利活用優良事例の普及、利活用の PDCA サイクル徹底等を進めること**で、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現する「GIGA スクール構想」が国から示されました。

GIGA スクール構想の実現により、次のような新しい学びの姿が期待されます。

例えば、一斉学習では、画像を拡大して提示し、ポイントを書き込んだり、動画などを活用したりすることが考えられます。

また、協働学習では、1 人 1 人の意見や考えを一覧で表示して共有し、学級全体で話し合いを行うことが考えられます。

他にも、個別学習では、インターネットを用いた情報収集や、教科書の QR コードによるデジタル教材の活用、個に応じた問題への取組などが考えられます。



Society5.0 の時代に対応した本道教育の実現と未来を切り拓く人材の育成

【「GIGA スクール構想の実現～学校における 1 人 1 台 ICT 端末～」掲載 Web ページ】

【「教育の情報化に関する手引」(令和元年 12 月) 掲載 Web ページ】

■ 文部科学省 サイト

GIGA スクール構想の実現

検索